「おわら風の盆」を舞台に紡ぐ切ない恋物語

燈火 風の盆

豊田美加・著

富山県八尾町では毎年9月1日から三日三晩、山から吹き下ろす風を鎮め、五穀豊穣を願い、彼岸に旅立った人たちを供養するために、「おわら節」を唄い、奏で、踊る。この「おわら風の盆」を舞台に、愛する人を失った男と女の切ない恋物語。「おわら風の盆」に惚れる東京の写真学校生の裕太(白石隼也)は八尾の和紙工房の一人娘・珠美(大野いと)と恋に落ちるが、不慮の事故で帰らぬ人に。喪失感から抜け出すことのできない珠美がふとしたきっかけで曾祖母の悲恋とその後の人生を知り、ようやく前向きに歩み始める。八尾の伝統芸能や工芸を織り混ぜ、過去と現在が交錯しながら進行する切なくも美しい純愛小説。監督・坂下正尚、脚本・荒木敏子、坂下正尚で映画化。

8月26日発売
定価:本体1,700円＋税
四六判／224ページ
ISBN978-4-09-386544-9

https://www.shogakukan.co.jp/books/09386544

◆豊田美加(とよだ・みか)
大分県生まれ。成蹊大学文学部卒業。ノベライズ作品に『小説 カノジョは嘘を愛しすぎてる』『小説 心が叫びたがってるんだ。』『小説 きみと、波にのれたら』など多数。

「戦後最大のフィクサー」衝撃の自叙伝

海峡に立つ

泥と血の我が半生

許 永中・著

「闇社会の帝王」と言われた戦後最大のフィクサー・許永中の自叙伝。

イトマン事件、石橋産業事件で逮捕されるなど、数多くの経済事件でその名が取り沙汰されてきた許が、自身の半生を初めて綴った。

日本と韓国を股にかけ、極道から巨大商社、銀行、テレビ局まで、縦横無尽に駆け抜けた許は、そのとき何と戦い、何を願っていたのか。

朝鮮部落で過ごした幼少期の原風景、日本が狂乱したバブル時代に自ら関わった事件の表と裏、政財界から暴力団までを貫くその人脈、2年間の逃走生活、そして日韓の未来への願い……その全てをここに明かす。

8月28日発売
定価:本体1,600円＋税
四六判／384ページ
ISBN978-4-09-388625-3

https://www.shogakukan.co.jp/books/09388625

◆許 永中(きょ・えいちゅう)
1947年、大阪府大阪市生まれ。大谷貴義や福本邦雄らの知己を得ながら、政財界を縦横無尽に駆けまわり、「戦後最大のフィクサー」の異名を取る。'91年にイトマン事件、'95年に石橋産業事件で逮捕。現在はソウル市内にて、介護や都市開発など様々な事業を手掛ける。

読めばきっと毎日が軽やかに

ジョージカックルのWELL WELL WELL

スローでメローな人生論

George Cockle・著

鎌倉在住の人気DJジョージ カックル。世界を旅し、波に乗り、数々の仕事を経験し、たくさん遊び、そのなかで出会った、ちょっと笑えるエピソードや、案外ためになっちゃう教訓など……スローでメローな語り口でまとめました。人気イラストレーター花井祐介氏がカバーイラストを担当。ヒッピーとして放浪し、サーファーとして数々の波に乗り、東西の音楽に精通する彼だからこそ語ることができる、メローでスローな人生論。閉塞気味の今だからこそ〝効かせ〟たい言葉の数々を用意しました。読めば毎日が軽やかになるエッセイ集。

Now Printing

9月2日発売
定価:本体1,400円＋税
四六判／224ページ
ISBN978-4-09-388721-2

https://www.shogakukan.co.jp/books/09388721

◆George Cockle(ジョージ・カックル)
1956年、鎌倉生まれ。日本人で日本舞踊の師匠の母とアメリカ人でヨットマンの父を持ち幼少時代を日本・テキサス・韓国で過ごす。日本での学生生活の後、憧れのインドをはじめ世界を放浪し、ハワイ経由で波が豊富なサンフランシスコに移り住み18年間波乗りに明け暮れる日々を送る。

これぞ室井滋の真骨頂！ 爆笑エッセイ集が誕生

ヤットコスットコ女旅

室井 滋・著

あの伝説のミリオンセラー『むかつくぜ！』から28年、絵本作家としても活躍の場を広げる女優・室井滋さんが久々に放つ傑作エッセイ集。本作は、仕事で東へ西へと旅を続ける室井さんが、移動の車中や宿泊先で起きたハプニングの数々をユーモラスに綴った、初めての旅エッセイです。北陸新幹線開通以降、大いに盛り上がる北陸路、地元富山や金沢のことから、京都や奈良などの全国の人気観光地、そして宿泊先でのまさかの怖〜い出来事まで、たっぷり67本を収録。読んでいるうちにどんどん元気がわいてきて、旅に出たくなること請け合いです。

装画・本文イラストは、『しげちゃん』など数々の絵本でコンビを組む人気絵本作家・長谷川義史さんが描き下ろし。行楽のお供にどうぞ！

9月10日発売
定価：本体1,200円＋税
新書判／256ページ
ISBN978-4-09-396545-3

◆室井 滋（むろい・しげる）
富山県生まれ。女優。早稲田大学在学中に1981年『風の歌を聴け』でデビュー。映画『居酒屋ゆうれい』『のど自慢』などで多くの映画賞を受賞。ディズニー映画『ファインディング・ニモ』『ファインディング・ドリー』日本語版のドリーの吹替えなども担当。『むかつくぜ！』『キトキトの魚』『おばさんの金棒』など著書多数。

https://www.shogakukan.co.jp/books/09396545

とぼけた顔で、神様はいるのかもしれない

空は逃げない

まはら三桃・著

佐藤倫太郎と佐藤林太郎。ふたりは同じ大学陸上部の棒高跳びの選手。周囲からは紛らわしいことこの上ないため、しだいにA太郎、B太郎と呼ばれるようになっていた。

かたや平凡な記録保持者、かたや全国レベルの花形選手のふたりの前に、練習風景を熱心にスケッチしていた芸術学部の女子・石井絵怜奈が、突然、自分も棒高跳びの選手になりたいと志願した。

そんな3人の前に、ある日大きな転機が訪れる——。大学時代と数年後の現在、ふたつの時代を往還しながら、物語は、次第に思いもよらぬ場所へと読み手を誘う。

9月11日発売
定価：本体1,400円＋税
四六判／226ページ
ISBN978-4-09-386549-4

◆まはら三桃（まはら・みと）
1966年、福岡県北九州市生まれ。2005年、講談社児童文学新人賞佳作を受賞。『鉄のしぶきがはねる』（講談社）で2011年度坪田譲治文学賞、第四回JBBY賞を受賞。ほかに『白をつなぐ』など。

https://www.shogakukan.co.jp/books/09386549

「アマゾンエフェクト」の正体を見た。

潜入ルポ amazon帝国

横田増生・著

Now Printing

〝世界最大の小売企業〟アマゾンによる日本市場制圧。その現場では何が起きているのか——「アマゾンエフェクト」の実態に迫るべく、『潜入ルポ アマゾン・ドット・コム』以来、15年ぶりにアマゾンの巨大倉庫に潜入。さらに、即日配送、カスタマーレビュー、マーケットプレイス、AWSなど、アマゾンのさまざまな現場に忍び込んでは「巨大企業の光と影」を明らかにしていく。私たちはどこまでアマゾンに依存していくのか……日本人に大きな問いを投げかける傑作ルポルタージュである。

9月17日発売
定価：本体1,700円＋税
四六判／352ページ
ISBN978-4-09-380110-2

◆横田増生（よこた・ますお）
1965年、福岡県生まれ。関西学院大学を卒業後、予備校講師を経て、アメリカ・アイオワ大学ジャーナリズム学部で修士号を取得。'93年に帰国後、物流業界紙『輸送経済』の記者、編集長を務める。'99年よりフリーランスとして活躍。主な著書に、『潜入ルポ アマゾン・ドット・コム』『仁義なき宅配』『ユニクロ潜入一年』など。

https://www.shogakukan.co.jp/books/09380110

人とわかりあうことは、こんなにも難しい。

きみはだれかのどうでもいい人

伊藤朱里・著

ここは県税事務所の納税課。税金を滞納する「お客様」に笑顔で支払いを促すのが仕事だ。同期が心を病んで休職したことで、出世コースといわれる人事課から一転、納税課に異動させられてしまった中沢環(25)は、母親ほどの年齢のパート職員と、「バナナココア」ばかり飲む空気の読めないアルバイトという厄介な部下とともに、決して悪い噂を立てないよう、細心の注意を払いながら働いている……(第1章「キキララは二十歳まで」)。

同じ職場で働く、年齢も立場も異なる女性たちを、4人の視点で描く。

デビュー作『名前も呼べない』が大きな話題を読んだ太宰治賞作家が、自らの働く経験をもとに描く勝負作。

職場で傷ついたことのある人、人を傷つけてしまったことのある人、節操のない社会で働くすべての人へ。迫真の新感覚同僚小説!

9月18日発売
定価:本体1,700円+税
四六判／320ページ
ISBN978-4-09-386551-7

◆伊藤朱里(いとう・あかり)
1986年生まれ、静岡県出身。お茶の水女子大学卒業。2015年、「変わらざる喜び」で第31回太宰治賞を受賞。同作を改題した『名前も呼べない』(筑摩書房)でデビュー。他の作品に『稽古とプラリネ』(筑摩書房)、『緑の花と赤い芝生』(中央公論新社)がある。

https://www.shogakukan.co.jp/books/09386551

篠山紀信の写真の魅力と秘密が明かされた

超写真論

篠山紀信 写真力の秘密

後藤繁雄・著

2012年6月以来、全国30会場以上の美術館で開催されてきた『篠山紀信展 写真力』展。〝写真力〟とは篠山によれば、写真の力が漲った、唖然とするような尊い写真であるという。本書は「写真力展」を企画・プロデュースした後藤繁雄が、半世紀に渡って時代の最先端で活躍してきた写真家篠山紀信に真っ向から挑み、本展の展示構成を軸に据えて、篠山の写真の謎・魅力・秘密を丁寧に解き明かしていく。

「写真は時代を映す鏡だ」と言い切る篠山紀信。『激写』にはじまり、宮沢りえからAKB48まで、常に時代の中心に立ち、そのときどきの「今」を鮮明に活写してきた篠山の写真を語ることが、大量の写真を生み出す今を語ることに通じ、日本人論ともなり得る画期的な一冊である。

9月20日発売
定価:本体2,900円+税
A5判／368ページ
ISBN978-4-09-682305-7

◆後藤繁雄(ごとう・しげお)
1954年、大阪府生まれ。編集者、京都造形芸術大学教授。コンテンポラリーアート、写真について教鞭をとり、若手アーティストの育成にも力を注ぐ。編集者としては、坂本龍一、荒木経惟、篠山紀信、蜷川実花などの本を手がけ、アーティストへのインタビューの連載、及び150を越す写真展をキュレーションしてきた。

https://www.shogakukan.co.jp/books/09682305

シリーズ中、最も難しい点字つきめいろ！

さわるめいろ 3

村山純子・著

「産経児童出版文化賞大賞」をはじめ、数々の選書に選ばれた「さわるめいろ」シリーズ最新刊。

指でたどりながらゴールまで進む、楽しいめいろ遊びの本です。めいろは全部で11種類。難易度アップしたやりごたえのある、めいろ遊びが楽しめます。見える子も見えない子も、一緒になって楽しめる画期的な本です。

Now Printing

9月2日発売
定価：本体1,900円＋税
A12取／10ページ
ISBN978-4-09-725011-1
https://www.shogakukan.co.jp/books/09725011

ラグビーはボールが主人公！

まんがでわかる ラグビーが面白くなる本

今泉 清／くじらいいく子・著

くじらいいく子氏が描く、「ラグビーに全く興味のない青年と言葉を喋る熱血ラグビーボールが出会い、ラグビーを学んでいく」というストーリー漫画に、元日本代表・今泉清氏が丁寧な解説を付けていきます。ラグビーに関するドヤ知識も満載です。

9月4日発売
定価：本体1,100円＋税
四六判／144ページ
ISBN978-4-09-388724-3
https://www.shogakukan.co.jp/books/09388724

「そらまめくん」あかちゃん絵本の第3弾

そらまめくんの おやすみなさい

なかやみわ・著

『そらまめくんと おまめのなかま』『そらまめくん こんにちは』に続く、大人気のあかちゃん絵本シリーズ第3弾。

繰り返し表現される、シンプルでやさしい語りかけの言葉と、愛らしい表情でぐっすり眠る豆たち。

ギフトケース入りシリーズ3冊セット（10月発売予定）はギフト用にも最適です。

9月5日発売
定価：本体850円＋税
B24取／28ページ
ISBN978-4-09-726830-7
https://www.shogakukan.co.jp/books/09726830

奇跡は誰にでも起こせます！

何歳からでも美肌になれる！

奇跡の62歳！美的GRAND編集長 〝逆転〟の美肌術

天野佳代子・著

「美容編集者だからきれいなんでしょ？」そんな疑惑を吹っ飛ばす、一般女性が天野メソッドを3週間試してみたビフォーアフターも実証。何を塗るかじゃない、どこに重点を置いてどう使うかがスキンケアの要なんです。

9月12日発売
定価：本体1,300円＋税
A5判／162ページ
ISBN978-4-09-310632-0
https://www.shogakukan.co.jp/books/09310632

温かい寒天スープで、お通じの悩み解消!!

1日2gで、すっきり快腸！ あったか寒天スープ

小菅陽子・著／朽久保 修・監

1日1回2gの寒天をとると、便秘の人が快腸に！ 冷たくてかたい夏の食べ物だと思っていたのに、煮溶かすだけの温かいとろとろスープにしたら、飲みやすくておいしい！ 食事の最初の「寒天スープファースト」、新しい食べ方、レシピを紹介します。

9月18日発売
定価：本体1,200円＋税
A5判／96ページ
ISBN978-4-09-310899-7
https://www.shogakukan.co.jp/books/09310899

いつだって、僕らは本と生きてきた。【P+D BOOKS】今月のラインアップ

別れる理由 3

小島信夫・著

作家の前田永造は、アメリカ人の知人・ワシントンと偶然に再会し、二人でボウリング場へと出かける。だが「どうも夢くさいぞ」という永造のひと言を契機に、さながら舞台劇のような〝幻想の世界〟へと突入していく。

定価：本体650円＋税　B6判／496ページ
ISBN978-4-09-352374-5
https://www.shogakukan.co.jp/books/09352374

記念碑

堀田善衛・著

物語は戦争末期の昭和19年末から無条件降伏後まで。すでに太平洋の島々では玉砕が相次ぎ、東京爆撃も始まっていた。特攻隊や学徒出陣、また逼迫する配給物資や闇取引などの過酷な現実を余すことなく描いた問題作。

定価：本体550円＋税　B6判／320ページ
ISBN978-4-09-352375-2
https://www.shogakukan.co.jp/books/09352375

9月12日発売・配信（ペーパーバックとデジタルで同時、同価格）
https://pdbooks.jp

小学館文庫

提灯奉行 浅き夢みし

和久田正明・著

十一代将軍家斉の正室寔子と密かに想いを寄せ合う白野弁蔵は表向き、提灯奉行という軽輩者だが、その実、御目付神保中務から陰扶持を頂戴する直心影流の達人だ。その弁蔵が神保に呼び出されて絶句した。こともあろうに、寔子の実父にして元薩摩国鹿児島藩主・島津重豪が捕縛されたというのだ。早速、品川宿に出向いた弁蔵が宿役人から話を聞くと、重豪が旧知の旅籠・利久屋で働く女中母娘を助けようとして三人の破落戸を成敗したらしい。だが、事件の背後には、性懲りもなく寔子の命をねらう織田信長の残党・影母衣衆の気配があった。シリーズ第3弾完結篇。

◆**和久田正明（わくだ・まさあき）**
1945年、静岡県生まれ。テレビ時代劇の脚本を多数手がけた後、現在は時代小説の執筆に専念。主なシリーズに『昼行燈』（ハルキ文庫）、『提灯奉行』（小学館文庫）など。

9月6日発売
定価：本体620円＋税
文庫／304ページ
ISBN978-4-09-406666-1
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406666

小学館文庫

死ぬがよく候〈三〉花

坂岡 真・著

日本一の盗賊霞の丑松か否かを見極めてほしいと、越後出雲崎の代官に頼まれた伊坂八郎兵衛。拷問蔵へと渋々向かったが、縄で繋がれた男を目にした途端、勘が働いた。素知らぬ顔で数日――。出雲崎から離れ、小千谷で宿を取った八郎兵衛に、泣きぼくろのある女が近づいてきた。嘘か真か、女は丑松の情婦おきくと名乗り、丑松殺しを引き受けてくれとまで言う……。賞金首となりながらも、次々に襲いかかる刺客たちを返り討ちにする八郎兵衛。しかし、中山道板橋で思いも寄らぬ〈七曲がりの罠〉が仕掛けられていた!?

◆**坂岡 真（さかおか・しん）**
1961年、新潟県生まれ。花鳥風月、義理人情を妙味溢れる筆致で描く、実力派作家。2010年、将軍家毒味役を務める御膳奉行に材を取った「鬼役」で人気作家となる。

9月6日発売
定価：本体650円＋税
文庫／320ページ
ISBN978-4-09-406683-8
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406683

小学館文庫

狗賓童子の島

飯嶋和一・著

「飯嶋和一にハズレなし」と賞される歴史小説の巨人、第19回司馬遼太郎賞受賞作、待望の文庫化！

弘化三年（一八四六）日本海に浮かぶ隠岐「島後」に、はるばる大坂から流された一人の少年がいた。西村常太郎、十五歳。大塩平八郎の挙兵に連座した父・履三郎の罪により、数え六つの年から九年に及ぶ親類預けの果ての「処罰」だった。

やがて常太郎は医術を学び、島に医師として深く根を下ろすが、災禍に痛めつけられ、怒りに染まっていく島民らの姿を目の当たりにする――。

◆**飯嶋和一（いいじま・かずいち）**
1952年、山形県生まれ。既刊に『汝ふたたび故郷へ帰れず』『雷電本紀』『神無き月十番目の夜』『始祖鳥記』『黄金旅風』『出星前夜』（すべて小学館文庫所収）、『星夜航行』（新潮社）がある。

9月6日発売
定価：本体1,100円＋税
文庫／752ページ
ISBN978-4-09-406685-2
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406685

小学館文庫

見えない目撃者

豊田美加・著

警察学校の卒業式の夜、交通事故を起こして視力と最愛の弟を失った浜中なつめは、絶望的な日々を送っていた。

ある日、なつめは車の接触事故に遭遇するが、その後部座席からは少女の叫び声が聞こえてきた。誘拐事件だと直感したなつめは警察へ赴くが、捜査は打ち切りに。少女を助けようと奔走するなつめは、もう一人の目撃者である少年、春馬を探し出す。

そして、四体の惨殺死体が発見されたことから、少女連続殺人事件が浮上。猟奇殺人犯は、真相に近づこうとするなつめにも迫っていく。吉岡里帆主演の究極のサスペンス映画をノベライズ。

◆**豊田美加（とよだ・みか）**
大分県生まれ。成蹊大学文学部卒業。ノベライズ作品に『小説 カノジョは嘘を愛しすぎてる』『小説 心が叫びたがってるんだ。』『小説 きみと、波にのれたら』など多数。

9月6日発売
定価：本体560円＋税
文庫／192ページ
ISBN978-4-09-406686-9
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406686

小学館文庫

シャドウ

神田 茜・著

十代半ばで両親を失い、姉妹二人で生きてきた陽菜と元菜。陽菜は女優として活躍し、元菜は付き人をつとめている。ある日、元菜は口ケ現場でカメラマンの生駒と出会い、彼に惹かれていく。そんな折、役を降ろされて窮地に陥った陽菜は、生放送の番組で写真家と交際していると宣言してしまう。「元菜を愛しているなら、私と交際宣言をして」――二人の関係に気づいていた陽菜は、話題作りのために、生駒に無理難題を持ちかける。深い絆で結ばれた姉妹の関係と、元菜の恋の行方は!? 究極の三角関係を通して主人公の自立を描く、新しい恋愛小説。解説は中江有里さん。

◆神田 茜（かんだ・あかね）
北海道生まれ。講談師・作家。2011年『女子芸人』で第六回新潮エンターテインメント大賞を受賞。著書に『ぼくの守る星』『しょっぱいタ陽』『母のあしおと』など。

9月6日発売
定価：本体650円＋税
文庫／256ページ
ISBN978-4-09-406687-6
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406687

小学館文庫

おれたちをまたぐな！ わしらは怪しい雑魚釣り隊

椎名 誠・著

俗に「猫またぎ」といえば、猫も食わないまずい魚のことをいう。なんと、おれたちがいつも釣っている魚のことではないか!? そうやって猫にさえなめられながら、シーナ隊長率いる雑魚釣り隊は、今日も日本のどこかで雑魚を探して雄叫びを上げている。

米子の海岸では手作りテントをいくつも建設して地元の人を驚かせ、富山湾では神出鬼没のホタルイカを狙って四苦八苦。八丈島では堤防からまさかのムロアジ大漁！ 歓喜も束の間、秘島・青ヶ島では笑えないレベルの監禁状態に……。

進化も成長もしないまま、遂にシリーズ第6弾!!

◆椎名 誠（しいな・まこと）
1944年、東京都生まれ。作家。写真家、映画監督としても活躍。『犬の系譜』で吉川英治文学新人賞、『アド・バード』で日本SF大賞を受賞。著書多数。

9月6日発売
定価：本体690円＋税
文庫／368ページ
ISBN978-4-09-406688-3
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406688

小学館文庫

逆説の世界史 1 古代エジプトと中華帝国の興廃

井沢元彦・著

文明はどのように発達し、なぜ衰退していくのか――。『逆説の世界史』は累計550万部のベストセラー『逆説の日本史』の著者が挑む、構想15年の新たなライフワーク!! 待望の第一弾は「古代エジプトと中華帝国の興廃」。

「ピラミッドの建造技術を断絶させた言霊信仰」「ファラオの墓という定説の大矛盾」「エジプト文明が三度も滅びた不思議」「中国・韓国の反日感情を肥大させる元凶」「歴史認識を歪める儒教社会の呪縛」「なぜ世界最先端国家が六百年以上も停滞するのか」……。

民族・宗教・イデオロギーによる偏見や差別を超越した視点で、文明の衰退と停滞の謎を読み解く文明論。

◆井沢元彦（いざわ・もとひこ）
作家。1954年、名古屋市生まれ。早稲田大学法学部卒業。TBS記者時代の80年、「猿丸幻視行」で江戸川乱歩賞受賞。歴史ノンフィクションの金字塔「逆説の日本史」シリーズの他、著書多数。

9月6日発売
定価：本体800円＋税
文庫／400ページ
ISBN978-4-09-406689-0
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406689

小学館文庫〈キャラブン！〉

陰陽師と無慈悲なあやかし

中村ふみ・著／睦月ムンク・イラスト

ときは平安。京の都には目に見えない物の怪たちが跋扈していた。やる気が空回りする陰陽寮の新米・大江春実と、飄々とした美形のあやかし・雪羽は、時の権力者左大臣の豪邸・万華院で起きる怪異事件を解決することに。

定価：本体630円＋税　288ページ
ISBN978-4-09-406674-6
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406674

マエストロ・ガールズ このコルネット、憑いてます。

天沢夏月・著／けーしん・イラスト

女子高生の美香が帰宅途中のゴミ捨て場で拾ったのは、天才演奏家少女の幽霊が憑いた小さな金管楽器。二人（？）は協力して吹奏楽部に入部、コンクールを目指すことに!? 感動の青春×吹奏楽小説！

定価：本体620円＋税　272ページ
ISBN978-4-09-406690-6
https://www.shogakukan.co.jp/books/09406690

9月6日発売　文庫判